

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	海外研修
科目基礎情報						
科目番号	0024		科目区分	専門 / 選択		
授業形態			単位の種別と単位数	: 2		
開設学科	情報電子工学科		対象学年	1		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材	技術者倫理: グローバル社会で活躍するための異文化理解 (実教出版)					
担当教員	原田 徳彦,倉増 泰弘,橋爪 善光,江本 晃美					
到達目標						
グローバル化が進む世界にあって、国内外で活躍する実践的な技術者としての英語力にとどまらない異文化対応力や、地域のグローバル化における課題を発掘し、それらの課題をさまざまな文化的背景を持つ人々とともに解決するための課題解決力と実践的なコミュニケーション能力などを身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
異文化理解力	日本の文化とは異なる文化的背景を理解し、グローバルな視点で、お互いの違いを尊重するとともに、自らの文化的な違いを、相手に理解させることができる。		お互いの文化の違いを尊重し、グローバルな視点で、その違いを許容することができる。		文化的な違いに基づく価値観や、倫理観の違いを理解することができない。	
異文化対応力	日本の文化とは異なる文化的背景を理解し、グローバルな視点で、お互いの違いを尊重しながら、その違いに対応することができる。		お互いの違いを尊重しながら、グローバルな視点で、文化的な違いに対応することが出来る。		異なる文化的違いを理解し、対応することができない。	
課題発見力	日本の文化とは異なる文化的背景を理解し、グローバルな視点で、お互いの違いを尊重しながら、共通の課題を発見することが出来る。		お互いの違いを尊重しながら、グローバルな視点で文化的な違いに対応することが出来る。		お互いの違いを尊重しながら、文化的な違いに対応することが出来ない。	
課題解決力	日本の文化とは異なる文化的背景を理解し、グローバルな視点で、お互いの違いを尊重しながら、共通の課題を解決することが出来る。		お互いの違いを尊重しながら、グローバルな視点で共通の課題を解決することが出来る。		お互いの違いを尊重しながら、共通の課題を解決することが出来ない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	国内外での研修を通じて、日本語以外の学習言語でのコミュニケーション力を身に付け、また現地での様々な活動を通して異文化理解力、異文化対応能力を身につける。					
授業の進め方・方法	研修の説明、海外協定校とのオンライン交流、海外渡航前の危機管理研修及び研修の目的を明確にするための事前レポート作成、海外研修、報告書のまとめ、及び研修成果発表会を実施し、その成果に基づいて到達度を評価する。					
注意点	受け入れ側、及び本校の事情により、必ずしも実施出来るものではない。状況によっては、中断もあり得る。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	学内ガイダンス、事前テスト	学内ガイダンスに参加し、研修の内容を理解できる。		
		2週	海外協定校等とのオンライン事前交流①	1) 現地担当者や学生の話を理解できる、2) 自分の考えを伝えることができる		
		3週	海外協定校等とのオンライン事前交流②	1) 現地担当者や学生の話を理解できる、2) 自分の考えを伝えることができる		
		4週	海外協定校等とのオンライン事前交流③	1) 現地担当者や学生の話を理解できる、2) 自分の考えを伝えることができる		
		5週	海外危機管理	国際交流室長からの海外における危機管理に関して理解できる		
		6週	事前レポート準備	1) 海外研修事前レポート (目標など) を作成できる、2) 渡航前の準備ができる		
		7週	事前レポート発表	1) 海外研究事前レポート発表会で、自身の研修の意義や目的について伝えることができる		
		8週	海外研修注意事項・質疑応答	海外研修出発前注意事項を理解できる		
	2ndQ	9週	現地研修、現地レポート (徳山高専公式YouTube, Facebook等)	1) 現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2) 授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる		
		10週	現地研修、現地レポート (徳山高専公式YouTube, Facebook等)	1) 現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2) 授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる		

		11週	現地研修、現地レポート（徳山高専公式YouTube, Facebook等）	1）現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2）授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる
		12週	現地研修、現地レポート（徳山高専公式YouTube, Facebook等）	1）現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2）授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる
		13週	現地研修、現地レポート（徳山高専公式YouTube, Facebook等）	1）現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2）授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる
		14週	成果発表準備（ポスターまたはスライド）	1）現地大学のESLプログラムや語学学校等での授業において、学習言語でコミュニケーションができる 2）授業内外の様々な活動で異文化を理解し、対応できる
		15週	成果発表準備（ポスターまたはスライド）	研修の成果発表のためにポスターあるいはスライドが準備できる
		16週	成果発表、事後テスト	海外研修成果発表ができる、事後テスト
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	30	0	0	0	0	70
専門的能力	20	10	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0